

エコアクション21

2016年度 環境活動レポート (2016年1月～12月)



ばね用ステンレス鋼線・ピアノ線・硬鋼線



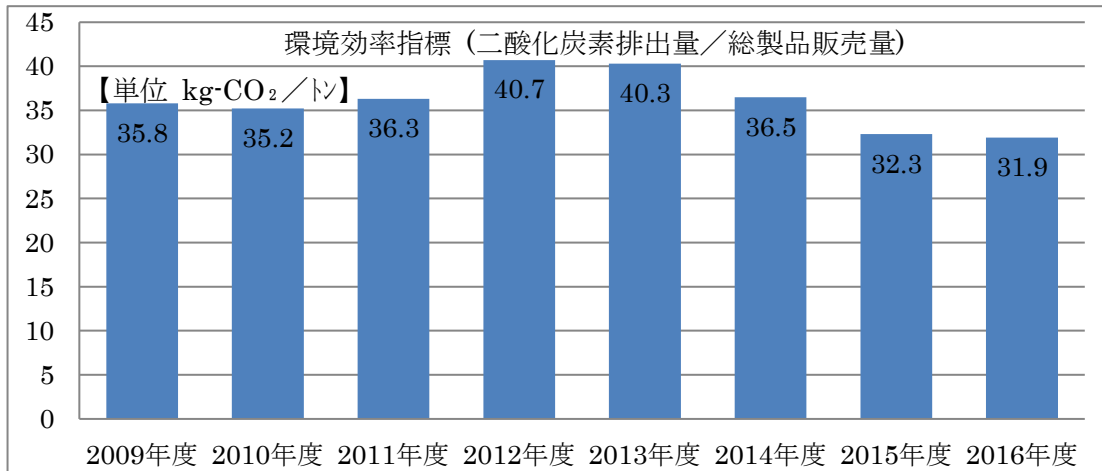
西日本金属株式会社



認証番号 0003807

発行日：2017年1月18日

当社では環境負荷の総量を削減する一方、事業経営の観点から、環境への取り組みの効率性を表す“環境効率指標”を把握・管理しています。グラフは過去8年間の販売量1トンあたりの二酸化炭素排出量の推移を表しています。2012～2013年度は販売量が減少し、ガソリンと軽油使用量が増加した為、非効率となりましたが、2014～2016年度は反対に販売量が増加し、ガソリンと軽油使用量が減少した為、環境効率が改善しています。



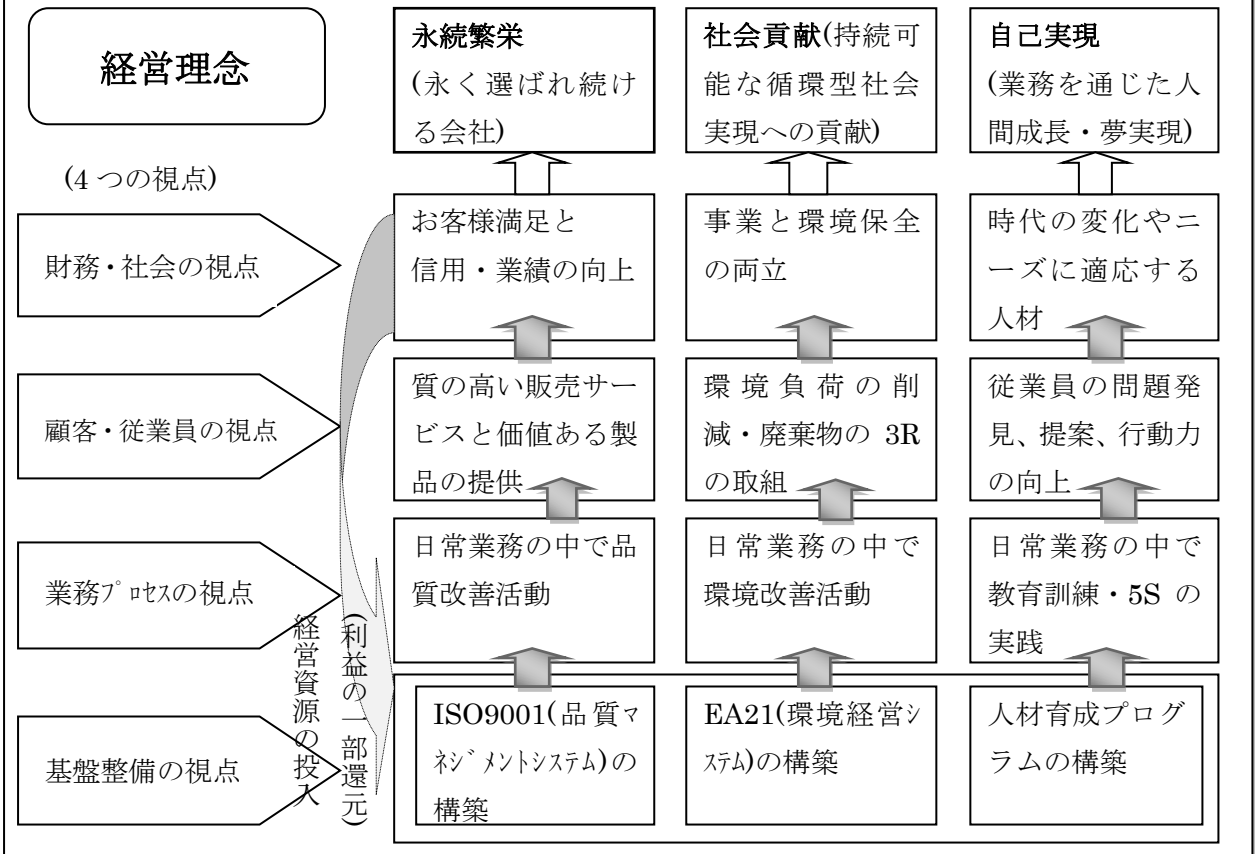
リスクと機会の視点からみた重要経営課題
(SWOT分析に基づく経営課題と重要経営課題の抽出)

重要経営課題	外部環境	
	機会 (Opportunity/Chance)	リスク (Threat/Risk)
① ●お客様満足と信用・業績の向上 ●事業と環境保全の両立 ② ●時代の変化やニーズに適應する人材 ●質の高い販売サービスと価値ある製品の提供 ●環境負荷の低減・廃棄物の3Rの取組 ●従業員の問題発見・提案、行動力の向上 ③ ●日常業務の中での品質改善活動 ●日常業務の中での環境改善活動 ●日常業務の中での教育訓練: 5Sの実践 ●ISO9001 (品質マネジメントシステム)の構築 ●EA21 (環境経営システム)の構築 ●人材育成プログラムの構築	●主要顧客(自動車関係)からの堅調な受注 ●顧客から便利と思われる業務対応 ●試作品材料の受注機会の増加 ●アジアにおける高い経済成長 ●海外からの引き合い ●地域住民の事業活動に対する関心	●自動車業界の先行き不透明さ(海外シフト等) ●長期的視点から見た国内市場の縮小の懸念 ●製品の化学物質規制適応証拠の要求 ●商品在庫増大のリスク ●顧客ニーズの多様化・不確実化 ●問屋を通さない取引(中抜き)の現れ
強み (Strength) ・小口注文(多品種、少量、短納期)への対応力 ・ユーザからの高い信頼 ・積極的な営業展開(ニーズ把握とアピール) ・経営者と従業員間の密なコミュニケーション	強みを活かして機会をつかむ戦略(S×O) ① ●お客様満足と信用・業績の向上 ② ●質の高い販売サービスと価値ある製品の提供 ③ ●日常業務の中での品質改善活動 ④ ●ISO9001 (品質マネジメントシステム)の構築	強みを活かしてリスクに対抗する戦略(S×T) ① ●事業と環境保全の両立 ② ●環境負荷の低減・廃棄物の3Rの取組 ③ ●日常業務の中での環境改善活動 ④ ●EA21 (環境経営システム)の構築
	弱み (Weakness) ・重量商品の取り扱いによる労働安全面の危険性 ・海外取引に対する知識・ノウハウ・人材不足 ・周辺地域住民とのコミュニケーション不足	弱みを克服して機会を逃さない戦略(W×O) ① ○周辺地域住民との共生・共存 ② ○従業員と地域住民のコミュニケーションの強化 ③ ○日常業務の中での地域住民との接点移行や周辺の清掃活動 ④ ●人材育成プログラムの構築

●はSWOT分析に基づく経営課題を重要性評価(経営理念との整合性、効果性、実現可能性、緊急性等)をして抽出した重要経営課題

当社では、持続的成長戦略を推進するため、環境経営システム(EA21)や品質マネジメントシステム(ISO9001)を認証し、運営しています。

西日本金属株の持続的成長戦略



環境方針

【環境理念】

当社のスプリング用・プレス用鋼材、並びに金属加工品の販売事業と地球環境保全を両立する為、環境経営システムを構築し、環境負荷の削減や廃棄物の3R活動(発生抑制・再使用・再生利用)に取り組み、持続可能な循環型社会の実現に向けて貢献します。

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ①電力、自動車燃料の消費に伴う、二酸化炭素量の削減
- ②一般廃棄物の3Rの推進
- ③排水量の削減
- ④事務用品のグリーン購入
- ⑤有害物質非含有の保証サービスの推進

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年11月13日

更新日：2013年4月13日

代表取締役 砂川 雅史

□組織の概要

1. 事業所名及び代表者

西日本金属株式会社 代表取締役 砂川雅史

2. 所在地

本社：大阪市平野区西脇1丁目6番15号 ※事務所+第一倉庫

第二倉庫：大阪市平野区西脇1丁目3番14号 ※無人倉庫

3. 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 社長 砂川雅史 TEL：06-6700-0022

担当者 営業 三栗隆尚 TEL：同上

4. 対象範囲(認証・登録範囲)

スプリング用・プレス用鋼材並びに金属加工品の販売

5. 事業の規模

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
製品出荷額	508百万円	538百万円	528百万円	511百万円
主要製品販売量	624トン	698トン	718トン	722トン

	本社	第二倉庫
従業員	8名	—
延べ床面積	133㎡	199㎡

6. 事業年度 1～12月(今回のレポートの対象期間 2016年1～12月)

7. 資本金 10百万円 8. 創業 1978年1月 9. 会社設立 1984年1月

10. 取得認証 環境経営システム エコアクション21(2015年7月2日付更新)

品質マネジメントシステム ISO9001:2008 (2014年3月25日付更新)

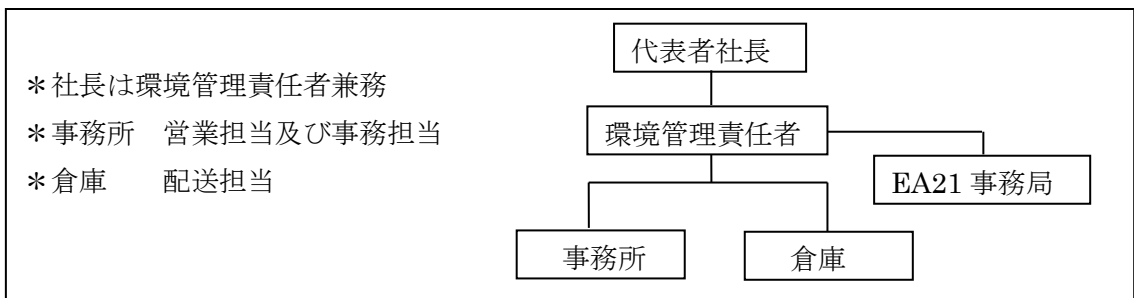
□主な環境負荷の実績

項目	単位	2008年度(基準年度)	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素排出量 (対象：電力、化石燃料)	kg-CO ₂ /年	27,181	25,500	23,187	23,058
廃棄物排出量	kg/年	516	438	539	518
総排水量	m ³ /年	84	62	62	65

□マテリアルバランス



□環境経営システムにおける組織図



□環境目標及びその実績

5/13

項目	年度	基準値 (基準年度)	2016年度 上段：数値		2017年度	2018年度
			下段：基準年度比			
			目標	実績	目標 基準年度比	目標 基準年度比
電力の削減	kg-CO ₂ /年	4,608 (2008年度)	4,239 92%	3,037 71.6%	4,193 91%	4,147 90%
自動車燃料の削減	kg-CO ₂ /年	22,160 (2008年度)	20,609 93%	19,546 94.8%	20,387 92%	20,166 91%
一般廃棄物の削減	kg/年	555 (2012年度)	533 96%	518 97.2%	528 95%	522 94%
水道水の削減	m ³ /年	84 (2008年度)	79 94%	65 82.3%	78 93%	77 92%
事務用品の グリーン購入	品目	5 (2008年度)	52 —	54 —	55	56
非含有証明書 発行日数の短縮	日数	30 (2008年度)	22 —	平均 5.33 —	21	20

※ 購入電力の排出係数について

関西電力の最新データは2015年の0.509kg-CO₂/kWh(実排出係数)となっているが、継続的な推移を見るために従来から使用している係数0.378kg-CO₂/kWhを用いた。

※ 事務用品のグリーン購入は当社事務用品リストの全72品目(2015年末時点)中、コストとのバランスも検討しながら品目を増加していくというもの。

※ 非含有証明書とは、材料メーカーから発行される「有害物質不使用証明書」「エビデンスシート」「ICP データ」などの(運用上「SDS 安全データシート」を含む)書類を指す。欧州連合(EU)の「RoHS 規制」「REACH 規制」など環境に悪影響を与える恐れのある化学物質への規制が世界で強まっているため、弱電・自動車向けのスプリング製造メーカーのお得意様が主体の当社では、調査依頼にスピーディーに対応するため環境目標に設定しています。

※ 環境効率指標 2016年度

二酸化炭素排出量 23,058kg-CO₂/総製品販売量 722トン=31.9kg-CO₂/トン
ガソリンと軽油の使用量が増加しましたが、販売量もそれに伴い増加した為、
2015年対比△0.4kg-CO₂/トンとなり環境効率が改善しています。

電力の削減

1. 環境活動計画 2016 年度

冷房 28℃程度、暖房 20℃程度、不要照明の消灯
 クールビズ・ウォームビズ運動、LED 蛍光灯、
 本社屋根の太陽熱高反射塗料を使用した塗装

2. 達成状況

目標 4,239kg-CO₂ 基準年度比 92%
 実績 3,037kg-CO₂ 目標比 71.6%

3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標達成 ○

2010 年 12 月に事務所の窓へ二重窓、複層ガラスの施工

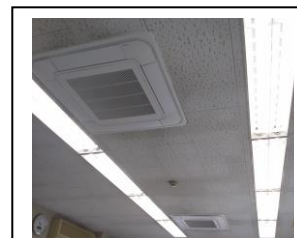
2011 年 11 月より事務所へ LED 蛍光灯レンタル開始

2012 年 10 月本社屋根に太陽熱高反射塗料を使用した塗装

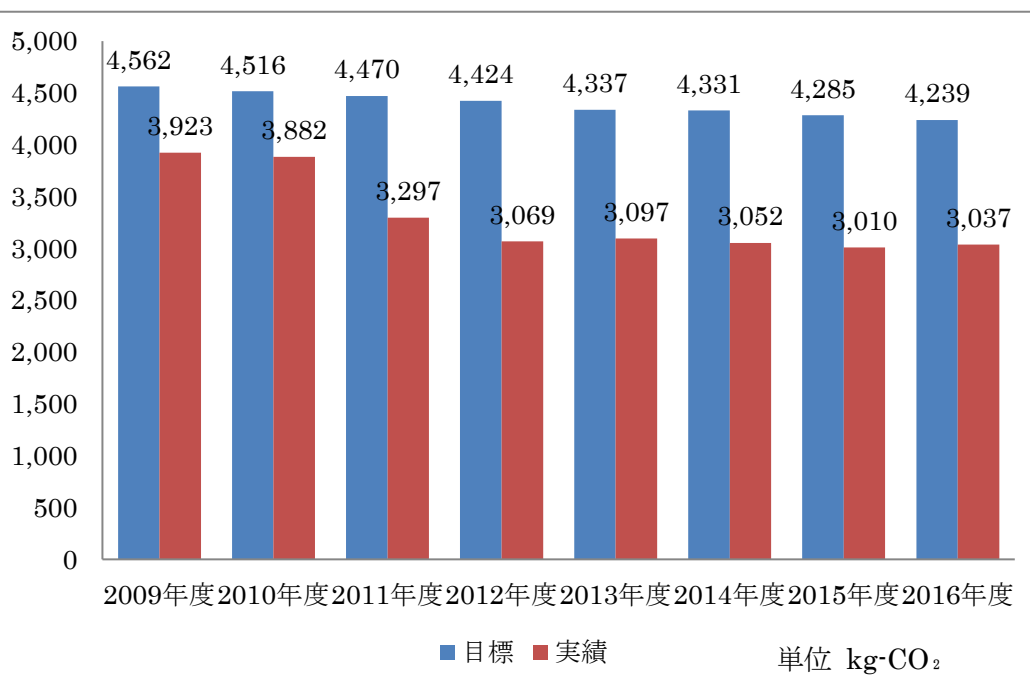
今期から始めている 3 ヶ月毎のエアコンフィルターの簡易点検時の
 掃除の効果が概ね認められました。2009 年の運用開始以来、
 様々な取り組みを行っており、来期も引き続き継続実施し、目標達成を目指します。



本社屋根の太陽熱高反射塗料



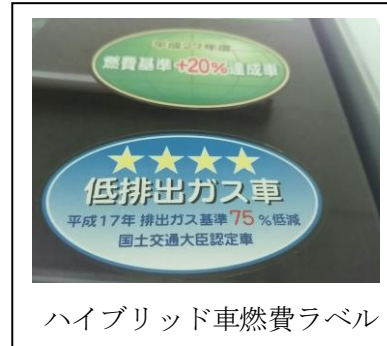
事務所の LED 蛍光灯



自動車燃料の削減

1. 環境活動計画 2016 年度

アイドリングストップ、急加速・急発進の防止
 冷暖房の控え目使用、燃費のよい車の購入、
 電車による営業活動、
 2014 年 3 月ハイブリッド車、12 月軽自動車買替
 2015 年 11 月軽自動車購入



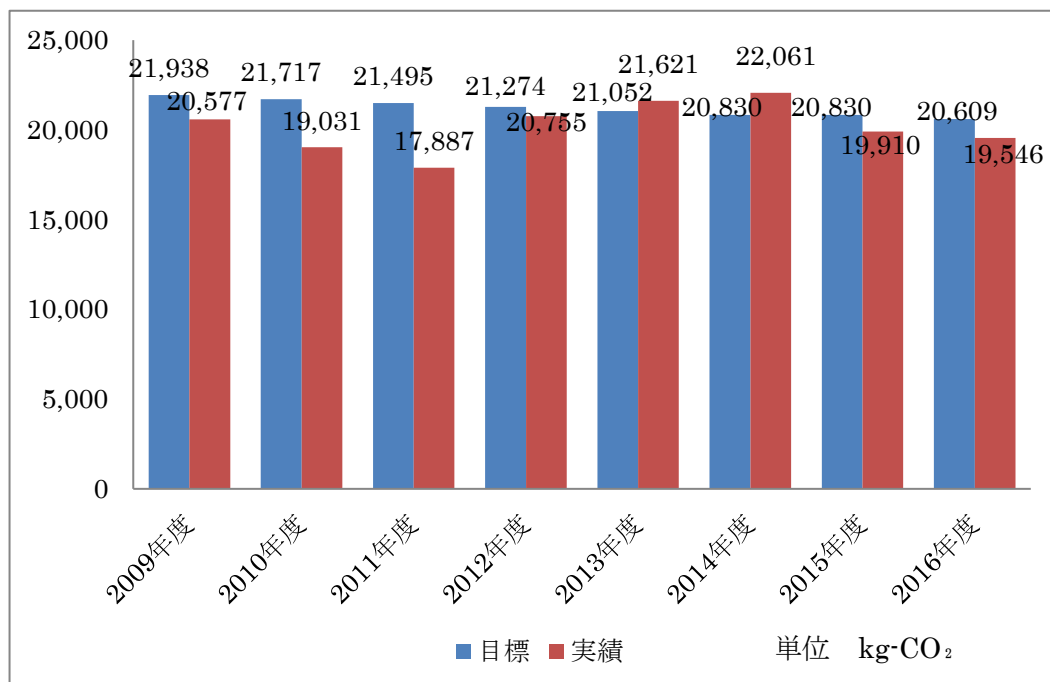
2. 達成状況

目標 20,609kg-CO₂ 基準年度比 92%
 実績 19,546kg-CO₂ 目標比 94.8%

3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標達成 ○

営業車が 1 台増え活動量も増加しましたが、遠方への出張は新幹線とレンタカーを組み合わせる工夫をしました。配送トラックは効率よく稼働したので、軽油が減少し全体として前年より削減出来ています。来期は、販売量の増加が予想され、配送トラックの軽油使用量も増える見込みです。また、営業車も今期同様に稼働を予定しています。エコドライブの実践で目標達成を目指します。



一般廃棄物の削減

1. 環境活動計画 2016 年度
 使用済み用紙の裏紙の利用
 使用済み封筒の再利用
 カートリッジの回収とリサイクル
 商品の巻紙の再利用
 分別による古紙のリサイクル



商品の巻紙再利用

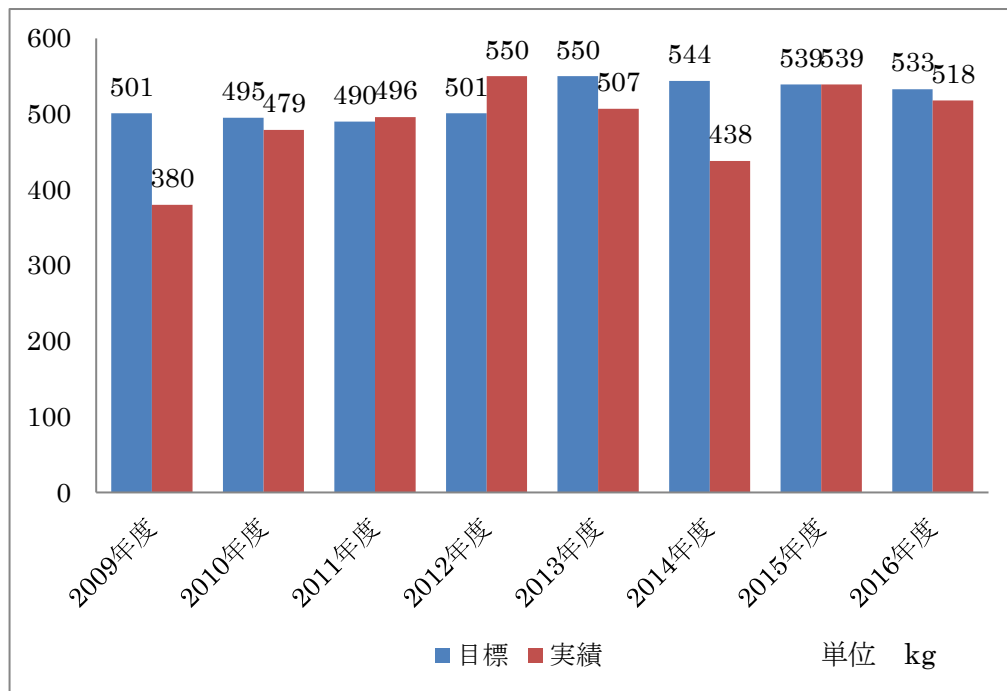


OA 機器への貼り紙

2. 達成状況
 目標 533kg 基準年度比 96%
 実績 518kg 目標比 97.2%
3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標達成 ○

総製品販売量は微増していますが、目標は達成出来ており受注時の小分けを減らす営業努力の成果が出ています。来期も継続実施し、目標達成を目指します。



水道水の削減

1. 環境活動計画 2016 年度

節水呼びかけ

2. 達成状況

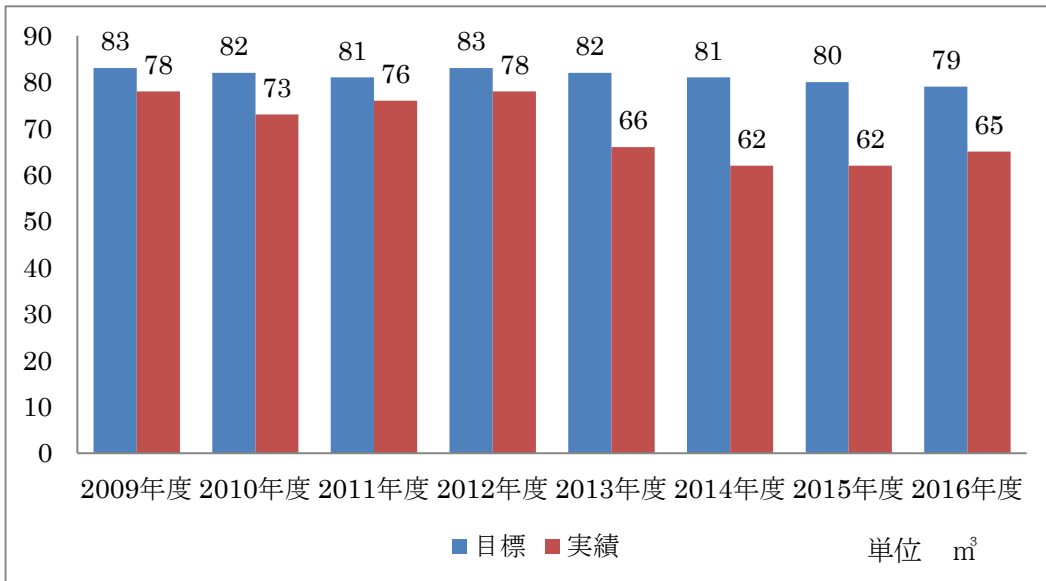
目標 79 m³ 基準年度比 95%

実績 65 m³ 目標比 82.3%

3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

目標達成 ○

前年よりも水道水使用量は増加しましたが、目標は達成出来ています。来期もこのまま節水努力を継続実施し、目標達成を目指します。



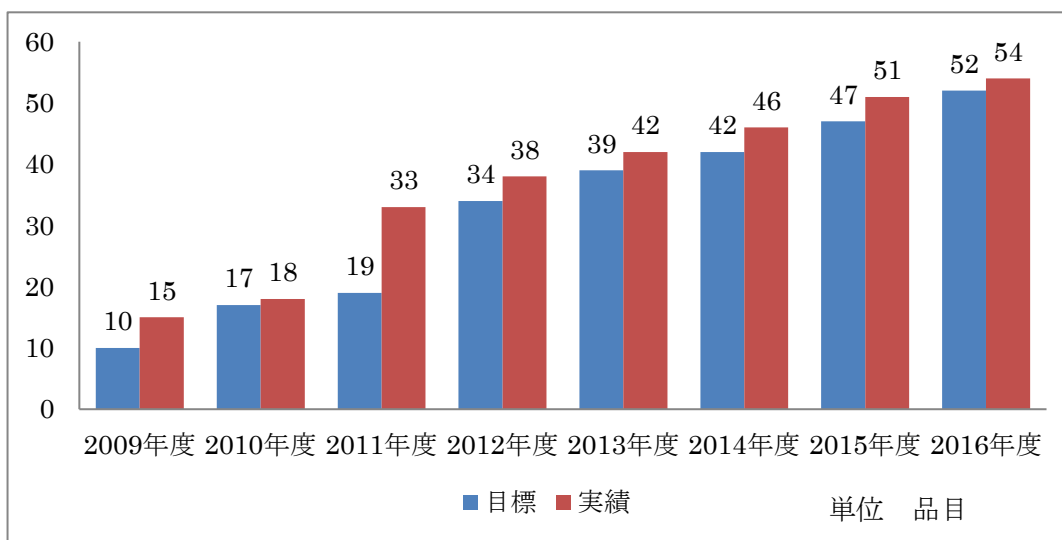
事務用品のグリーン購入

1. 環境活動計画 2016 年度
事務用品リストの作成
再生紙の使用
エコマーク商品を優先的に購入
リサイクル品の購入



グリーン購入による事務用品

2. 目標 52 品目
実績 54 品目
3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 **目標達成** ○
必要の都度カタログなどで確認しながら取り組んだ成果が出ています。
運用開始以来、毎年、品目数が増加しています。
来期も継続実施し、目標達成を目指します。



非含有証明書発行日数の短縮

1. 環境活動計画 2016 年度

依頼顧客に対し全件データ提供の協力をする

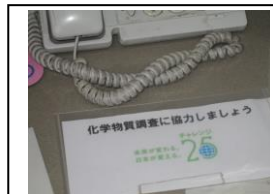
2. 達成状況

目標 22 日

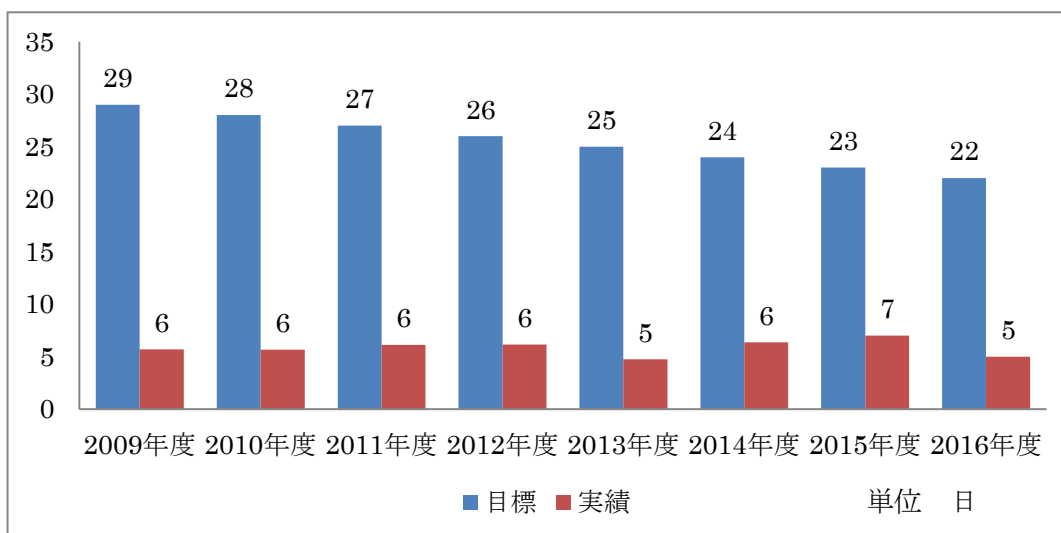
実績 平均 5.33 日

3. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 目標達成 ○

今期は 96 件調査依頼があり、年々重要性が高まり調査件数が増えています。全件対応出来ていますが、35 日も掛かる難しいケースも増えています。来期も引き続きメーカー様の協力を得ながら運用し、目標達成を目指します。



デスクへ貼り紙



□環境関連法規制等の順守状況

1. 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

*₁

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
廃棄物処理法 * ₂	一般廃棄物(紙、木くず、生ごみなど)の適正排出	○
フロン排出抑制法	業務用空調機の簡易点検	○
自動車 NOx・PM 法 * ₂	トラックの適合車使用	○
家電リサイクル法	冷蔵庫の適正排出(リサイクル化)	○
小型家電リサイクル法	携帯電話、電話機、FAX、電卓の適正排出 (希少金属の再資源化)	○

*₂ 自治体の関連規制含む

2. 努力義務を受ける環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	評価
循環型社会形成推進基本法	一般廃棄物の 3R の推進	○
グリーン購入法	事務用品購入時の配慮	○
消防法	防火訓練・手順確認テスト実施	○
環境教育推進法	環境教育	○
環境配慮促進法	環境活動レポート	○

*₁ 環境関連法規制等の評価 ○:法的義務の順守/努力義務の実施

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

□その他の取り組み

13/13

緊急事態訓練

1. 火災が発生しないように予防を行います。
 - ①たばこは所定の場所で喫煙する。
 - ②ストーブ、灯油保管場所は火気厳禁とする。
 - ③漏電の点検、消火器有効期限の確認を3ヶ月毎に実施する。
2. 万が一の場合を想定し、防火訓練・手順確認テストを年1回行います。また、訓練の妥当性や手順の有効性を確認し、見直しや提案を行います。



喫煙場所

環境教育

環境活動は従業員が必要性に“気付き”、“理解”して、“行動”する事により実効を上げる事ができます。その為、当社では「環境教育」を重要な位置付けにしています。また、5S活動を基本とした人材育成を行う事をISO9001の品質方針においても掲げています。

1. 毎月のISO9001検討会の場を利用して環境目標の達成状況を把握し、各個人の役割や環境への取り組みの意味を認識する。
2. 環境方針を掲示して、内容を理解して取り組む。
3. 内部コミュニケーションとして運用上の問題点や提案を出し合う。

環境管理責任者は、エコ検定や3R検定の合格、環境プランナー・ベーシック資格を取得して環境問題への知識を修得し、当社の環境活動においてリーダーシップを持って取り組んでいます。

□代表者による全体評価と見直しの結果

運用開始から8年が経過し、環境経営システムの運用が良好に推移しています。今期も全6項目の目標が達成できています。個別の目標達成状況については、まず電力の削減では、今期から始めている3ヶ月毎のエアコンフィルターの簡易点検時の掃除の効果等で目標達成ができています。自動車燃料の削減については営業車が1台増え活動量も増加しましたが、効率的な稼働により目標が達成できました。一般廃棄物の削減では受注時の小分けを減らす営業努力で目標が達成できました。水道水の削減についても前年より使用量は増加しましたが、目標が達成できました。事務用品のグリーン購入では運用開始以来順調に品目が増加しており、目標設定の上方修正も検討します。非含有証明書発行日数の短縮では年々調査件数が増えていますが、全件対応し目標達成ができています。来期も引き続き全6項目の目標達成を目指します。

次回の環境活動レポートは2018年1月発行予定です。

営業品目

- ステンレス鋼線・ピアノ線・硬鋼線・オイルテンパー線・メッキ鋼線
・異形線・銅線・リン青銅線・真鍮線・アルミ線・鉄線 等線材販売
- ステンレス鋼帯・特殊、焼入鋼帯・銅板・リン青銅板 等板材販売
- 直線寸法切・面取・板材切断・線ばね、板ばね 等加工品販売

取扱メーカー

日本精線(株)・神鋼鋼線工業(株)・鈴木住電ステンレス(株)・六甲金属(株)・日鉄住金
SG ワイヤ(株)・トクセン工業(株)・永岡鋼業(株)・富士精線(株)・日新鋼業(株)・日亜
鋼業(株)・ジェイ・ワイテックス(株)・丸菱金属工業(株)・新星工業(株)・(有)ノグチ・
開進工業(株)・日本金属(株)・(株)原田伸銅所・FCM(株) 他

エコアクション21

環境活動レポート 2016年度

(2016年1月～12月)

作成者 EA21事務局



西日本金属株式会社

〒547-0035 大阪市平野区西脇1丁目6番15号

TEL : 06-6700-0022 FAX : 06-6700-0025

HP : <http://www.nkk-metal.com>

E-mail : sus@nkk-metal.com